



思川だより



令和5年2月24日 第83号

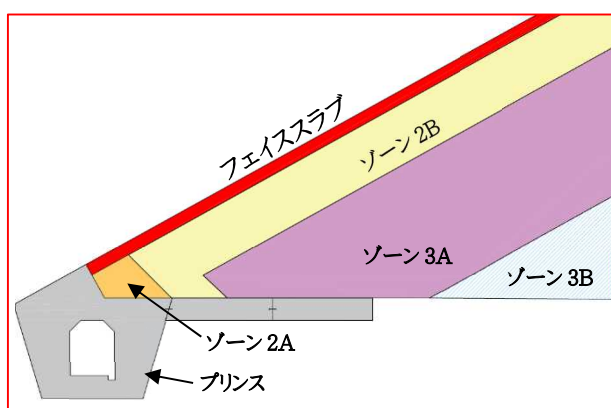
ダムの盛立、いよいよ後半戦！ 2次盛立

南摩ダムの盛立は2段階で行っています。前半の1次盛立では、堤体上流側からプリンス上部を横断して堤体内に進入し下流側の盛立を先行して行いました。これにより、下流側の盛立を行うと同時に、堤体上流側に位置するプリンスコンクリートの打設や基礎処理工の作業が可能となりました。

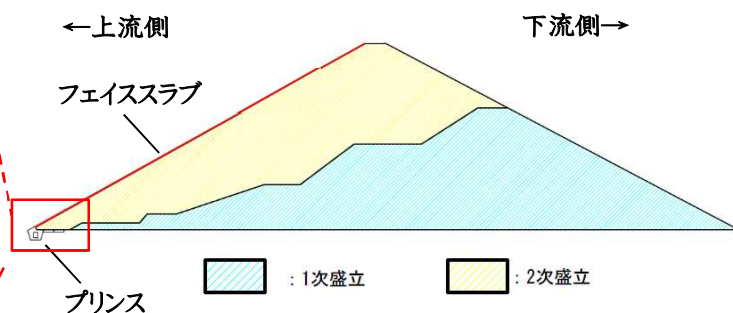
後半の2次盛立では、ダムサイト右岸頂部から進入し、1次盛立の道路形状にした上流側を下り、プリンスの構築と基礎処理が完了したエリアから上流側の盛立を行います。また、1次盛立と異なる点として、2次盛立ではロック材に加えフェイススラブを支持するランジション(ゾーン2A・2B)の盛立を行います。

ランジションは、河床砂礫に砂を混合して材料とします。ロックゾーンと異なり、ランジションゾーンは幅が狭いため、非常に細やかな作業が求められます。

ダムの完成に向け、鋭意施工を進めていきます。だんだんとダムの形が出来上がる様子をお楽しみに！



堤体標準断面図



2段階盛立図



写真-1 2次盛立(特にランジション盛立)の状況

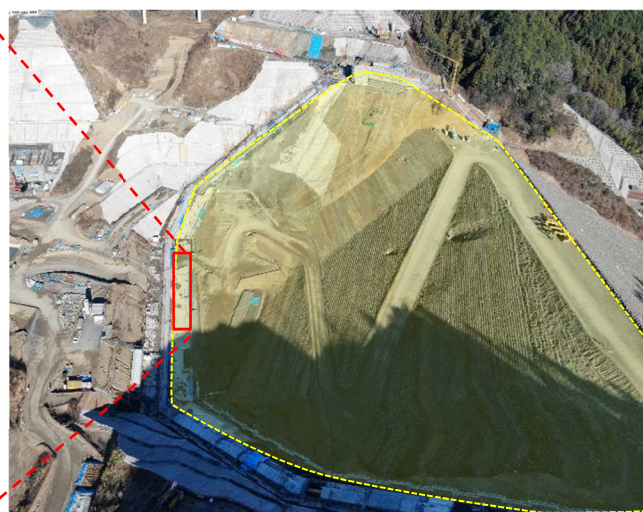


写真-2 2次盛立範囲

主要工事の状況

○導水施設工事

黒川および大芦川で施工を行っている取水放流工の工事では、引き続き地上設備の構築を進めるとともに、構築が完了した地上設備についてはゲート等の付属設備の据付を行っています。今回は、すでに据付が完了した付属設備の一部についてご紹介します！

写真-3に示す除塵機は、河川水を取り込む取水口に設置するもので、細かな網目状のスクリーンにより塵芥（流木や枝葉）が導水路内へ入るのを防ぐとともに、スクリーンに溜まった塵芥を取り除くための設備です。河川に棲む魚たちが誤って導水路内へ入らないように、スクリーンの網目の大きさや格子形状には工夫を施しています。

写真-4に示す取水ゲートは、取水量の調整を行うもので、水路と取水ゲートの間にある隙間（ゲート開度）の大きさを操作することによって、取水量を調整することができます。



写真-3 除塵機 (大芦川取水放流工)



写真-4 取水ゲート (大芦川取水放流工)

○ポンプ設備工事

南摩揚水機場ポンプ設備工事は、南摩ダムに貯水した水を黒川、大芦川へ最大 $4.6\text{m}^3/\text{s}$ 送水するポンプ設備の製作・据付を行う工事です。ポンプは合計6台を設置する計画で、大・中・小と3種類の規格に分かれたポンプを組み合わせ、また各ポンプの流量を制御して運転することで、河川へ送水する量を細かく調整することができます。今回は、ポンプ設備を構成する機器の製作状況についてご紹介します。

写真-5は吸込管と呼ばれ、南摩ダム貯水池から敷設する利水放流管と呼ばれる配管から分岐し、南摩揚水機場ポンプ設備につながる配管となります。現在は15本に分割して製作が完了しており、今後、現場に搬入し、溶接やボルトによる接合を行い、最終的に連続した1本の配管となります。

写真-6は中ポンプの原動機（モーター）で、ポンプの始動・運転時に電力を用いて動力を発生させる機器となります。写真の原動機にポンプ本体が接続されることで、中ポンプで最大 $0.40\text{m}^3/\text{s}$ の送水が可能となります。現在、小ポンプと中ポンプ用原動機の合計4台が製作完了間近となっています。

本工事は現在、現地での据付に向けて工場で機器の製作を行っています。ポンプ設備がより良い設備となる様、引き続き安全に施工を進めていきます。



写真-5 吸込管



写真-6 中ポンプ原動機

思 川 散 策

＜思わず行きたくなる思川＞を発見する「思川散策」

宇都宮市古賀志町の御岳をピックアップ

麓から約 2 時間、栃木県宇都宮市 古賀志山 「御岳」



古賀志山から望む日光連山

栃木県宇都宮市北西部に位置する標高 546m の低山、御岳をご紹介します。御岳は古賀志山の一部であり、赤岩岳（標高 535m）、古賀志山（標高 582.8m）の山塊を総称して古賀志山といいます。この山塊は独立峰のように見えますが、足尾山地に属しており、長い年月をかけて侵食され、地形が細分化したとされています。御岳周辺にはパラグライダーの発着場があり、天気の良い日には、空を優雅に飛んでいる方たちを見ることができます。また岩場も多くあることから、ロッククライミングの練習場としても使われています。

御岳山頂への行き方は様々ありますが、比較的短時間で登れる滝コースをご紹介します。

御岳山麓にあります市営駐車場から約 10 分ほど林道を歩き、登山道に入ります。なだらかな登りを楽しみながら歩を進めると、やがて巨大な岩場地帯が出てきます。こちらが先程ご紹介したロッククライミングの練習場です。巨大な岩を横目にさらに歩を進めると、尾根に向けての急峻な登りが立ちはだかります。息を切らしながらその坂を超えるとハシゴが待ち構え、気を抜くことなくそのハシゴを登れば、山頂にたどり着きます。山頂からは日光連山をはじめとした県内外の山々の大パノラマが広がります。中でも男体山と女峰山はひときわ目立ち、その堂々たる姿についつい圧倒されてしまいます。晴天であれば富士山も望むことができます。ぜひ寒さで固まった身体を御岳登山でほぐしに行ってみてはいかがでしょうか。

登山をする際は、事前の情報収集と体力に見合った計画、そしてしっかりとした装備で登りましょう。安全第一！



栃木県内の地元かるたを用いて、
様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。
引き続き、『^{しもつけ}下野かるた』（栃木県文化協会発行）からの紹介です。

く きつつきも 庵は破らず 夏木立 >

大田原市にある臨済宗妙心寺派の名刹。江戸前期の俳人、松尾芭蕉もこの寺を訪れており、タイトルの句は境内に句碑として残されております。



八溝山地に囲まれた自然豊かな雲巖寺は、美しい景観で知られており、鉄道会社のCMの撮影場所としても使われております。



バスツアー

関東ツアーサービス株式会社が実施した鹿沼市内を巡る日帰りバスツアーのコースの一つに南摩ダム(ダムサイト展望広場にて見学)が組み込まれ、全18回、約400名の方が見学に来られました。

見学では、職員による事業の説明の後、展望台から工事が進む南摩ダムの様子を見ていただきました。参加者からは、ダムの大きさに驚く声や完成後にはまた足を運びたいといった声が聞かれました。参加の記念に、ダムカードをお持ち帰りいただきました。



展示パネルによる説明



ダムサイト展望台からの説明

編集後記

○まだまだ寒い日が続きますが、その中でも春の訪れを感じさせる日も増えてきました。暖かい日には、最盛期を迎えている南摩ダム建設工事のご見学にお越しください。

お知らせ

- ▼ 見学会の実施や工事状況等の詳細については、お電話でのお問い合わせまたはHPをご覧ください！
 - ▼ 「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！
- お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

